

力を合わせよう

金融のなかま

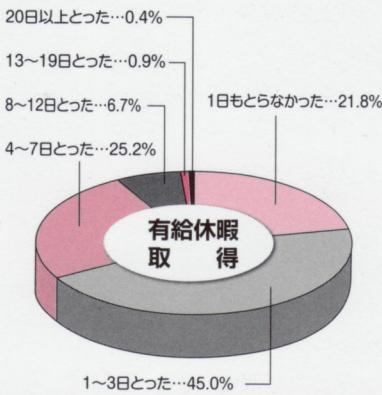
金融労働者の職場と生活の実態は

金融労連では、全国の仲間にアンケート調査をしていますが、正規も非正規も6割の仲間が生活が苦しいとの実態が出ています。非正規の4割以上の仲間が「賃金が安い」「正規との賃金・労働条件の格差」と職場の不満を訴えているように、同じ仕事をしながら、賃金・労働条件を低く抑えられている実態があります。

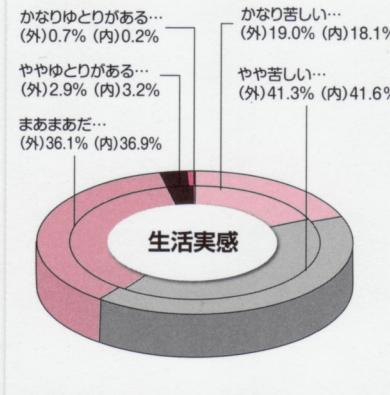
また、有休の取得状況も7割近くの仲間が半年で3日以内あるいは取っていないという結果が出ています。職場での不満にありますように、人員不足により、休みたっても休めない実態が浮き彫りになっています。

みんなの職場はどうでしょうか?みんなの力を結集して、このような働くされた方を改善させましょう。

2010年4~9月の半年間で何日有給休暇をとりましたか(正規)



あなたの生活実感は (外側(外)…正規、内側(内)…非正規)



職場での不満・不安(複数回答上位5項目)

(単位:%)

正規	非正規
要員が足りない	44.6
年休・代休がなかなかとれない	25.9
リスク商品のノルマ追及	20.1
職場や仕事がなくなるのでは	19.4
職場の人間関係	16.5
賃金が安い	46.3
正社員との賃金・労働条件の格差	44.9
雇用契約が更新されないのでは	30.1
職場や仕事がなくなるのでは	25.8
同僚・上司との人間関係	17.2

組合のとりくみでこんな成果

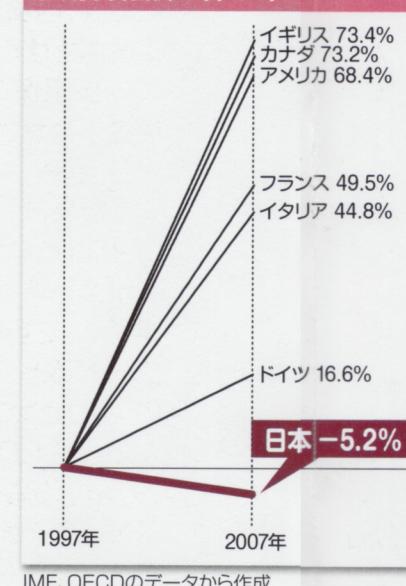
- 臨給(ボーナス)の出産休暇控除を廃止させました
- 時間外の「自主勉強会」を時間外手当対応にさせました
- 有期雇用の契約社員の大量雇い止めに対して一定の希望者の雇用を確保し、退職金と一定期間の求職活動も保障させました
- メンタル不全による長期休職者の慣らし運転からの丁寧な職場復帰を実現しました
- 全店のトイレにウォッシュレット設置を実現しました
- 不当な人事考課による臨給支給を団体交渉で是正させました
- 行き過ぎた人員削減で生じた3人店舗で増員を実現しました
- 廃止されていた期末臨給(3月末)の復活が実現しました

日本の賃金は「世界の異常」

日本だけが賃金減少

1997~2007年の労働者の賃金の伸び率は、先進国の中で唯一、日本だけが減少しています。

雇用者報酬の伸び率



一方、日本の製造大企業はこの間、内部留保を約1.5倍に増加させています。

内部留保を取り崩し、賃上げにまわせば、内需が拡大し景気回復につながります。

日本の最賃は先進国で最低

2010年度の日本の最低賃金は時間額730円(全国加重平均)ですが、購買力平価で比較すると、フランス1,132円、ルクセンブルク1,275円、オランダ1,057円、イギリス806円(いずれも2009年1月現在)で日本の1.7~1.1倍になっています。

◆ あなたのご意見をお聞かせ下さい ◆

性別は(男・女) 年齢は(才)

勤務先は(銀行・信金・信組・その他)

仕事は(内勤事務・渉外・管理職・技術職・庶務職・その他)

雇用形態は(正社員・パート・派遣・嘱託・その他)

Q1 残業時間は早出を含めて毎月何時間ぐらいですか?

- ①10時間未満 ②20時間未満 ③30時間未満
④45時間未満 ⑤60時間未満 ⑥60時間以上

Q2 時間外手当はきちんと払われていますか?

- ①きちんと払われている ②多少不払いがある
③大半が払われていない ④まったく払われていない

Q3 あなたの賃金は大体いくらですか?

平均月収(税込) 万円

年間ボーナス(税込) 万円

〈パート等時間給の場合〉

時間給()円、年間ボーナス()万円

Q4 あなたの不安・不満は何ですか?(いくつでも可)

- ①賃金 ②ボーナス ③退職金 ④人事考課
⑤労働時間 ⑥ノルマ ⑦仕事の内容 ⑧人間関係
⑨労働組合 ⑩健康 ⑪休暇 ⑫家庭生活
⑬パワハラなど職場環境 ⑭人員不足 ⑮雇用 ⑯差別

Q5 あなたの要望・要求・不安・不満など何でも自由にご記入下さい

(記入欄)

(記入欄)